

(日本森林学会 市民公開シンポジウム)

木質バイオマス利用の

現状と将来

エネルギー利用、CLT、セルロースナノファイバーなど木材製品の高度化と利用による国産材の新たな需要の開拓は、不振にあえぐ日本林業の再生に資するものと期待されています。その現状と課題について市民の皆様へ理解を深めていただくため、各分野のエキスパートに話題を提供していただき、ともに考えることを目的として、シンポジウムを開催します。

2017年

3月26日

13:30~16:30

かごしま県民交流センター
県民ホール

〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町14-50

TEL: 099-221-6600

基調講演

木材利用をめぐる新たな潮流

沖 修司 氏 (林野庁次長)



話題提供

木造でここまでできる

佐々木 幸久 氏 (山佐木材株式会社 代表取締役)

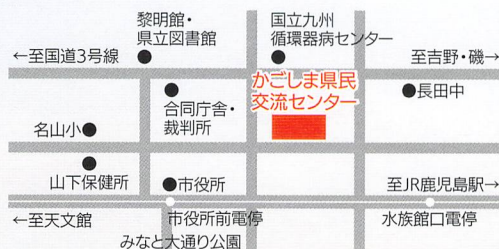
エネルギー利用の現状

近藤 博 氏 (中越パルプ木材株式会社 原燃料部長)

木質バイオマスの利用技術研究の現状

木口 実 氏 (国立研究開発法人 森林総合研究所 研究ディレクター)

■座長 / 吉田 茂二郎 氏 (九州大学大学院農学研究院教授)



※ご来場には公共交通機関をご利用ください。



写真提供 / 中越パルプ木材株式会社

お問い合わせ

鹿児島大学 農学部 公開シンポジウム担当

TEL: 099-285-8571 FAX: 099-285-8571

事前のお申し込みは不要です。
参加費無料で誰でも参加できます。

主催 / 一般社団法人 日本森林学会 公益社団法人 国土緑化機構「緑と水の森林ファンド」助成事業